



喀爾喀といふ所の北方あり一大邦あり人民極めて多し
 あり支那に属せり然る不曉喇喇といふ土地の蒙古に連なり
 去人ことと瀚海といふ處を三百五十里南に六十里のる大沙
 漠といふ所の沙地あり五穀草木と生ぜざる地也乾燥
 あり不乾て百川の水を所て竭すとぞその竭る所僅に
 濕る處も木と草のこといふをらと牧畜場と爲て牛馬
 及び羊等以畜ふ所といふ然る不表秋二分の時不雨つて大風
 起ると此の大地の沙を吹揚吹寄せしと一秋の内は大雨のふと
 ても忽ちふして吹散し隨て流き坑となる人これ不遇といふ

こゝに埋まれて死をとり入り元より新ありしけきを牛馬の
 糞の燥けつと多く焚といふ
 新增白臘といふ所の北極ありて魯西亞に屬して居て多し
 ありは財を産きと丈旅冬の間白目がなると毎不晴秋の如く時
 水の方不光るといふ所の地の光その土地といふとて夏月
 水のありといふとて多し其の氷堆のこめて不氷といふとて一
 年のうち七分は氷ありて僅に三分をありといふが所もはれ
 あひぬまの一生とて中を氣候和暖の土地はれといふはれ
 洪福といふ所の入る

小佛加利 せうぶつかり 大仏加利 だぶつかり といふ所の人物なる傲虐とて決りじが葛
 爾摸幾國 にほもせいくわく といふ所係せよとて今の令と交るとを葛爾
 摸幾國 にほもせいくわく より下官来るとてあつて支配する不定まれの居候より小され
 舎と車の上の管をふよ任せて四方へ費ゆき政のつとめするといふ
 地の人をいれて送りしるを住し椅子と用ひて言ふ胡坐なりたるは
 掠め奪ふといふとてたまきと男一人あて先くの婦人と取あつて功とする
 風俗にて一人の婦と娶ふ小教百金と費せたり故小夫とて其の
 女子と賣るととせり女子の容貌極めて美廉ありて身小銀環の長
 さ三寸ありとの穿ちその髪を金の糸に結ぶとの縁と飾る人の妻と

なる日る丸と紅を漆とて襦とせりその婚洞の夜先くの婚あり
 敷とち種とてしとて秋ひ舞ふといふを夫杖の風俗一夫と妻を
 仏統の天竺とて限るもよき上玉のやう小鏡と鏡書と取あつて小天
 竺へ来印度といふを大玉ありてその長短平均むねは方百餘里小
 あり民は一億二十万餘といふされ人種も一かきはといふとも大抵とて
 人びる聰慧人の文も不事情あり教を黄髪より是れ不炎候
 方灰の儀書術藝とて好まき技巧と好むといふ風俗宜しと疑ふ男
 女八九歳或は十歳小く婚嫁はとてまき子と産ふありと疑ふ
 年より産養ふありと疑ふ一日二日ありておてたの如しといふ元来

也求下

仏玉なるは仏教とて俗する婦人夫死を且つてその屍と焼きてその火
 中へ飛入て殉死せんとて是の情深きうまて頑固なるは然れども
 其の風を來漸く小止りとてん去地へ肥ては時山林小緑をあり五
 穀一年小あ収む固て食ふまじきとて一云産金銀宝衣及び
 種々の獸毛珠珊瑚の外草木の乳多し産ふ上玉といふるべし
 其の麻辣襪雨といふハデスカアテンの屬玉ゆて玉玉ありとて世に
 弊習ありと下仏教とて俗に然るは玉玉その位とてたふ小儀とて
 なく却て姉妹のふ小儀とこれとてその姉妹とて老定まりたる妻
 弘教と奉まる俗と森所と同なりとて産む所のふより由多小

世々の玉玉その母あること知れずとて近百年來
 洋人多くは小ありて通販するふより其の風漸く小止むといふ
 按て小儀とて俗に然るは玉玉とて猶て玉の姉妹の多儀と
 由知まじきとて老定まりたる妻とて産む所のふより由多小
 その小小加得山といふありあり大蛇と産むを長さこ文余小
 一人畜と食ふ人砲矢小巧とありてとてと野肉と焼く
 食ふ充るは味ありといふ
 満刺加といふは教玉小なる本の暹羅あり隸一うが道來
 自益の玉あり然れどもその地半の和菓小儀せらるるとい
 玉印度地言小ありてたて熟衣とて男女とも小裸袴あり

也求下



井
五

五

情涼一或況小支輝の中一人死する所の別とありと
 してその秋尸と懐きて臥きたる人いふやうに疾疾腐臭の
 痛うりとも解すなりとやまこと遠くの葬れり門也とを
 うと死の香と煙出て評を元來相識の人よありとていどもが
 初のおうとなん是等人情の厚き祿すべし但一笑小隠さるる
 象のとあり昔の古人日蝕といふことと知らば其國主のこゝろと
 知る固て日蝕あるは某の月某の日某の時白龍未だて日と
 吞んとすといふ吾危と懼ふことと防ぐべしと令一既不能する
 所不及び太鼓と鐘と鳴らし声と突一舞踊してその後

小なる毎朝のやうとなん近來西洋人あり小通商する
 りり古人も日の蝕するといふと悟してある止らうといふは
 本中不揃子本多うの樹の枝葉とも小太の民の利利とるを
 齊根一名と桂島といふ印度の海中小ありてその性古の麻手迦
 陀國よりといふアダムスといふ人ありてその所謂吳越といふ
 とぞこれバ釈迦徒生の地なるべしと心の絶頂に仏の足蹟あり
 古人の釈迦の跡と稱せりむり心よ美金の大金像ありアベンダ
 とのみのつのはま波爾杜瓦爾の人との像と毀ちたりし七十万の
 黄金をうりての地も於て熱帯中ゆく暑さ堪がくといふども小多く

浴風の涼きあつて人濃くとどけりは清の柘庵の内掛枝を
最上とて敷多あり左小桂島の名と肩うその芳香法と敷十
里小圃ふとらんまて一種の奇樹ありてタアルバと号くその葉は
大なる二十人と後をとりてその周圍悉くべしとのけりしは華
英の風俗となりぬれど性古い意笑ふべきの依ありまれば小
新婦と遊ぶまは婚姻の教その又さ若まづぬの形跡と抱て臥とらん
あまこと定規とらんようん

蕪門答刺といふ大玉ありて十七州に頒てりな雅を異々
表秋二分あり太陽その頂上と環る左小終日人の氣を正ほ

左小生涯雪おと又ずとらんら小一種の弊風といへり小婦人鼻
の低きとて左小女とて産とて小初生よりその鼻と塵と掃め
終小廻るなりあ終世の英人と稱すとて

カロリニセ 日本法属島の島ありを世そのとすと伊勢把
泥亞小倭せし家その迎を小五つのもありてまゐるのふ小属人
そのを小不婦人あり一玉男子あり冬寒のるをききあより男
子と遊んで金飲一子と産むその女子をこれの島小強め男子
をれば外島へ送るといふ古よりいふ女僕島とてあや
樂徳といふ小自立の酋長ありし小今の都兒格小合らまて

七世

本中漸衰ありたりその港は小むく巨洞人の名像ありて
 七年天身の内空なるふより大石敷多を積りて傾き倒るると
 防がその初めカリスといふ老老と企て力を用うと十二年ありて
 のまご功と早に死を交りラセスといふ老老と嗣で今も依然を
 その後六十年を経て地底の穴小倒る地よ小ありと八百年小
 及べども収めたる老々況や再建と企てる老々然る小亞刺比亞
 人あつたと後せるときかの像と破砕し九百匹の諸神よ負せて
 自よ小送るといふ
そは巨洞人のエウロツパ海ありと
ひびけられどその流小よれが考へり

歐羅巴洲の況

この洲北の氷海ふより東の亞細亞洲と烏落兒山及び小海
 東海よりつて疆とや南の北中流亞弗利加列小劃を西の亞大
 臘海と限るあの海とよけ北中南の三大洲とせり其侯於てき
 一は西南の流小向ふ方や暖氣とぞ其人種さぬるなりといふ
 ども概する小身材長大を髪赤く瞳紺のまよりその性伶俐
 あり天文地理の學も長ト又洲底小巧なるその層磚とりて
 牆と一木とりて棟とや或ひは六階七階小送る方さ之四丈あり
 のありその中小帝ふと稱するものあり獨逸都兒格魯
 西亞ありと云々

寺漏生しろうせいといふは大河に東をふくむるありて湖あり
 周圍頗大なりそのありて菜のるは満溢してその中へ魚を
 生ずる人漁獲して生活とせん次で之菜のるは其の乾涸
 して一滴と送るは左の稼穡して其穀とゆふと實不測と
 りへべ

佛蘭西ハ八十六國ありて首府と把理斯といふその人伶俐
 ありてよく百事を勉強せり獨逸の人の後小仏人の朋友と旅
 するも隣にふくむるをべうらむと是の侵し採めらるるとある
 りるといふ府内ハ大官廳ありその製造奇巧はひや百事

小して城といふその楼上小国を騎馬の像あり黄金を
 造る事さには十費目なりとぞ佛蘭西人たは嘆喟人
 互に繁華と誇る嘆人その能と羨へてのそく把理斯府ハ
 龍動府りゅうどうの府のより小き其一なり戸教も後つてあり二之
 灌身居霧一なるり警域の救ありにあり救中人と餐
 食するところありみありと佛人こと小對して龍動ハその地
 長きこの把理斯の田ハ大なる小者ぞ龍動ハ家救多され
 ぐも三階ありて把理斯ハ六七層より霧さなり龍動の婦
 女の情慾多きは小子と産む多し龍動ハたは罪障深し

地チと思オモ哥カ齊シ亞アとのりその想オモと嘆ナゲ咄ツク喇ラ小コ於オすと以モて大オホ嘆ナゲ咄ツク
 喇ラ小コ於オとのり今イマ分ワつて幸サイ二ニ列リとある中ナカ小コ六ロク千セン二ニ侯コウとある小コは振フルす
 府フと龍リウ動ドウとのり極キョクめて甚シ盛セイなりて依ヨるに比ヒはるるを
 來キ人ニ民ヲ輻フ輳ソク一ニ家ニ稠チウ密ミツするとのり井イの為タメ給キする小コはらへ
 を死シ山ノより水ノと引ヒくその路ミチ殆タど十里シヨ外ゲ毎マ小コ舟フネと密ミツて是コノと交マく
 とのり府フ中ノ小コ爹テ摸モ斯スとのり大オホ河カあり奇キ巧コウの橋ハシと架カを長ナガ百ヒャク半ハン丈サ
 幅オビ四シ丈サ餘ヨリあり教キョウ小コ到トウまひその橋ハシ上ノ小コ教キョウ基キの焼ヤク火カと張テて性セイ未ミ小コ使シ
 了マて大オホ學ガク校コウあり生セイ徒ト者シヤ不フ教キョウ万マン怨ゲンとある好コトで官カン方ホウ小コ質シツ易イす其
 船フネ凡ニ系ケイ八ハチ千セン八ハチ十ジュウと又マタ國クニと不フ打ウする所トコロの軍イクサ艦クニ大オホ煩ワン早サ門カドより百ヒャク二ニ



為タメ匿カクレ亞アの大オホ鳥トリ名ナ
 フリ、妙タマシに日光ニツクありとぞ
 又大オホありとぞ
 三サン丈サありとぞ

七

門と備ふる所のりの八百は十六艘とぞあるは海上の闘ひお終て
為洋流員とれお對するりの志察しとらん和蒙兵の軍艦をど
海とあてゆきあふ時の遠ふその旗を伏せてあるとつくり二統ふ
らふは海上の色路自在とたると方ふお傍る國を海上と云とらん

亞弗利加州の鏡

らの五島の印度海と以て亞細亞洲ふ及び南の大南海ふおあり
亞太臘海ふありお北中海ふある域中東海二大統と又十
め必ふおつ氣作まて極熱一年お乾濕の二時節あるのこ邦
人乘船の名何おとつんとおとつんとおとつんとおとつんと

月まで 燕の雨あまきくそゆの連月霖ふとらんお不洪あ
間あり是と濕の露といふお北の北沃して菓把と極ふお十
二日おてよく熱まるとぞあお北の山岳及び大沙漠のこおて夏おあ
穀ふえあくお不男女と外邦へ賣渡まの魚凡あり域中鹹多く
を海お航する処の貨物と棄れお國て高賈いよ那と軍隊と結て
あお極る元來邦人救種あり今別て二種とするお本お人と化邦人
種とありその化邦人種お或は亞細亞又は歐羅巴のふとありその人
お凡お同トを煮くその鼻平ら塌唇厚く眼小さく毛髪とよふ
蹠と曲とて化の北大洲の人と同トらぐぬて鄙陋とるりのあり

その陸一年十五万桶不減せんとぞ

巴太温一名墨瓦蘭玉の所領長人玉よりといふその地産炭

石尖くして逆家がぐく内池の林野叢茂して人烟由まこ

絶されい爰不上陸するものより一年意太里亞のハキヘタといふ

もの爰不来るして眼前不去人と視くととほる不身材と

中寄ゆの歎の皮と身不纏ひを不強ちと扱えたり性

たより長人玉といひ傳えたる浮統と破る勿編亞細亞人

よりいんまが長人といふへけごと歐邏巴人より長人といふ

爰不来るぬるとり

北亞墨利加洲の統

墨是可一名と新伊斯把泥亞といふその地産把極めて多

統中白銀と上り富るりのいれ不来る所の車輪と白銀

めて作るあり

新墨是可その地ハ共和政治州より統中ハ岳多しその

汗間ハ膏腴の地あり五穀と産する人多し去人好て

遊獵と吹ふふより毎月が鹿と鬻南ぐの定市目と建るとぞ

海人ハ蛇皮と蛇て製るの勝とるんといふ

共和政治の統長き不果をえい嘆ふより人種と送る

一もあり今この部で倭人あふまうて貿易とて二
十二員ふりてり

新貌利太泥亞の人民は矮小にして十二三歳の小児の如

く才智あつて能く物と算ふるふ干頼路ふりてその

教とては一婦と多く富ふると榮とてその刑罰は先人の

如くは極くゆるしむるを以て極刑とてをりたり云人多

くは英園ありありとて迫ると死の自ら己が罪と判り

獨眠悟の一約ふタバコといふ酒あり先年伊斯把泥亞入は

...

地ふ於て地めて美料とてりるるふタバコとてりく 本邦

ふとす所の煙草乃ち是なり

新和蘭の地度大めて地練ふありつとといふとを境放は

到るりの家くその精きと知りて一殊ふ洋岸着るを多くて

舟船とてせ難くといふと此に之の殊れありあはれは是と省り

フリ子レイといふ島あり其地とて新すれば友電流とてりるる

人相勇威徳義あり又慈憐と勵むる人々と飲食とてり

何れ己まづそのふたる物とてりるる外邦の客來るとてり

然るも一切とてりるる友電流の名空とてりるる風俗男女極

めて清潔と好く一日沐浴するにあての食もまこと
 究めて清潔なり父母妻子の養ふ宏廉の屋と造り苑
 圃園亭とあき苑とて庭ぎくむその厚意大約形のか
 一とぞ是その大略めて清きと多し精しきと素むる
 人のその考ふ就て観るべき

地球全圖畧説下終

